

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

		公表日： 令和2年 2月 21 日	事業所名：放課後等デイサービスセンター はくほう つみ木	
区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	
・体制	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	訓練受けている 宿題をしている お友達と遊んでいる児童とはホール内でも分かれて取り組んでいる。	はい 9人 どちらともいえない いいえ 18人
	2	職員の適切な配置	定員に対して児童指導員 リハビリ職員 看護師保育士 児童指導員が配置している為満たしている。	はい 24人 どちらともいえない いいえ 4人
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーではあるが 周辺が道路の為自動ドアのスイッチを切るなどの対応を行っている。	はい 22人 どちらともいえない いいえ 4人
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日職員が掃除を行っている 使用している玩具 椅子 テーブル 洗面台 トイレ等必ずアルコール消毒を行っている。	はい 23人 どちらともいえない いいえ 4人
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	気になる事があれば その都度職員で話し合いを行い意見を交換し 業務改善を行っている。	
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は受けていない。	
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	院内 院外の研修に参加している 参加出来ない時は 伝達研修を受けている。	
支援	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者と話し合い 目標を決め支援計画を作成している。	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に合わせ 個別活動 集団活動を組み合わせ作成している。	はい 29人

	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもに合わせた支援計画を作成し 記載している。		
提	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	子どもに合わせた計画で日々活動を行っている。	はい い	26人 どちらともいえな いいえ 0人 0人
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員で話し合い 子どもに合わせたプログラムの立案 実施を行っている。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇にしかできない取り組みを行っている。また、時間が長いため自発性を大切にしている。	はい 0人	24人 どちらともいえ いいえ 4人 わからない 1人
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事を取り入れている。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	子どもの来所時間前には スケジュールを考え また職員の担当も決め受け入れ準備を行っている。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	気になる事があればすぐに 職員で話し合い情報の共有を行っている。		
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日ケース記録を書いている また気になる事があった場合にはすぐに記録する様に職員徹底している。		

	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に1度 モニタリングを行い 支援計画の見直しを行っている。	
機関と	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	療育に関する情報交換会に参加している 担当者会議にも声がかかれば必ず参加している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	関係者 保護者と情報を共有し支援の実施を行っている。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	保護者には事前にかかりつけ医院等を教えて頂いている。 急な対応については 病院が母体である為協力体制が整っている。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	教員 他事業所等の見学は受け入れている。 その中で情報共有を行っている。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	卒業する子どもがいる場合には 実施している。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	指導は受けていないが 障害者支援センターなど専門機関等の研修には積極的に受講している。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在そのような交流や活動は行っていない。	はい 5人 どちらともいえな いいえ い 2人 7人

	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の行事への招待は行っていない。		
説明責	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始前の契約時に重要事項説明書を基に説明している。	はい いいえ	28人 どちらともいえない
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	原案を基にリハビリ職員 児童指導員保護者と面談を行い説明している。	はい いいえ	28人 どちらともいえない
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングとしては実施していない。	はい いいえ	10人 どちらともいえない
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳や送迎時 保護者とのやり取りでその日の様子を知らせ共通理解を促す。	はい いいえ	25人 どちらともいえない
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があれば 面談等で話し合う場を設け対応していく。	はい いいえ	26人 どちらともいえない
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在 父母の会はない。	はい いいえ	5人 どちらともいえない
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルの作成し 苦情窓口（担当者）を明確に知らせ 苦情があった場合は迅速な対応が出来る様にしている。	はい いいえ	13人 どちらともいえない
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お便り等は文章だけでなく分かりやすく写真等ものせる。個々に合わせて送迎時等お会いして伝える様にしている。	はい いいえ	21人 どちらともいえない

	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的にお便りを発行し 事業所での活動の様子など写真や文章で発信している。	はい いいえ	26人 どちらともいえない
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のある書類は 管理し 職員は個人情報の取り扱いを徹底している。	はい いいえ	25人 どちらともいえない
時等の	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは作成し 職員で周知している 保護者の方には 閲覧できるよう設置している。	はい いいえ	21人 どちらともいえない
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回(6月 12月)実施予定 様々な状況に対応出来る様訓練内容を検討し実施する また 実施後は振り返りをし反省 改善に努める。	はい いいえ	9人 どちらともいえない
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事業所内 外問わず研修があれば参加している。	わからない	7人
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要の場合保護者に十分に説明し書類を作成し了解を得て計画書にも記載する様にする。	はい いいえ	9人 どちらともいえない
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	必要となった場合指示書を病院からもらって頂き提出してもらう。(コピー可)おやつ等配慮する。	わからない	14人

	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が起きた場合速やかに状況を書き出し振り返りや職員会議で話し合いヒヤリハットを作成。職員全体で内容を共有 周知に徹底している。	
--	---	---------------------------	--	--

(別添様式2)		
サービス種類：(例：児童発達支援・放課後等デイサービス)		
保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
定員にたいしてのスペースは基準を満たしている為 のまま様子をみたい。	こ	
今後も 他職種で支援を行っていく。		
今の所問題は起きていないが これからも気を付けて 対策する。	対	
清潔を保ち ホール内の整理整頓を心がけている。		
今後も 情報を共有し職員で話し合いを行っていく。		
今後 検討したい。		
今後もスキルアップの為参加して行けるよう努力する。		
子どもと保護者のニーズをふまえ支援計画を作成する。		
今後も 子どもの個性をいかすことが出来る様な計画を 作成する。	作	

子どもに寄り添った支援を今後も作成し記載する。		
今後も計画に沿った支援を実施する。		
今後も 他職種で話し合いを行い今後も活動のプログラムを立案していく。		
平日は 学校があるため ゆっくりと出来ない様な創作活動に時間をかけて取り組む。		
創意工夫を取り入れ活動のプログラムの充実を図る。		
職員間で支援の内容や日々の担当を確認しながら行っている。		
今後も 職員で話し合い 情報を共有する。		
正確な記録の書き方を取り組み支援の充実を図る。		



<p>今後も 他職種で話し合い引き続き取り組んでいく。</p>		
<p>今後も参加し 情報共有を図りたい。</p>		
<p>関係者 保護者と連携を行い支援を行う。</p>		
<p>急な対応にも慌てる事なく 母体との連携を図り体制を整える。</p>		
<p>引き続き情報共有を図る。</p>		
<p>引き続き情報共有を図る。</p>		
<p>研修会に積極的に参加する。</p>		
<p>専門機関での研修会会議の機会を増やしていく。</p>		

今後検討を行う。		
今後も継続していく。		
今後も 支援の内容の説明を行っていく。		
保護者からの要望あり。他職種で話し合い検討していく。		
気になる事があればその都度伝え話している 今後も情報共有を行い保護者と共に支援を行っていきたい。		
保護者の様子や変化を見逃さないようにし 安心して相談できる雰囲気作りを心かける。		
保護者同士が関われる場など提供していきたい。		
苦情があった際には 相手の気持ちになり 迅速な対応が出来る様職員同士で周知しておく。		
写真を載せる時は 個人情報にも配慮し顔はわからないようにしている また偏りがないように気を付けている。		

<p>写真を載せる時は 個人情報にも配慮し顔はわからないようにしている また偏りがないように気を付けている。</p>		
<p>取り扱いには十分に気を付ける様職員徹底している。</p>		
<p>緊急時 感染症への対応など再度保護者へ伝えている。</p>		
<p>訓練内容や日時は事前に知らせ訓練状況等も保護者に伝えるようしていく。</p>		
<p>虐待の疑いが見受けられたらすぐに連絡する義務があることを知らせておく。</p>		
<p>必要な場合には対応する。</p>		
<p>必要な場合には対応する。</p>		

保護者との関連がある場合は話し合いをもち改善策を共に考えるようにする。		
-------------------------------------	--	--

